

稲城市教育センターを紹介します

稲城市では、平成25年4月から「稲城市教育センター」を開設しています。教育相談、特別支援教育相談、学校以外の場所での学習や集団生活を提供する教育支援、稲城市立小中学校の教育活動への支援を一体的に実施することにより、一人ひとりを大切にする教育の充実を図っています。中央文化センターに隣接した中央教育相談室は閉室し、旧市立第四保育園の園舎を改修して、令和6年4月に教育相談室分室(大丸)をスタートしました。ふれんど平尾内の教育センター、大丸分室はそれぞれ、稲城市発達支援センターと同施設内にあり、密に連携した切れ目のない支援体制を整えています。



- ・在籍園・学校や医療機関等ですすめられた…
- ・子どもに最も合った環境を選びたい…
- ・発達がゆっくりで集団について行けるか心配。

特別支援教育相談室

知的障害や発達障害のあるお子さんが小学校や中学校に入学する時に、もっている力を十分に伸ばすためには、どのような教育環境がふさわしいか、またどのような教育支援が必要なのかを保護者とともに考え、就学先を決めるところです。

【問い合わせ先：特別支援教育相談室 ☎042-331-7302】
【メールでの申し込み：syuugakusoudan@city.inagi.lg.jp】



- ・学校へ行きたくない。
- ・友達関係が上手にいかない。
- ・勉強が思うように進まない。

教育相談室

日常生活や将来に向けた悩みごと、心配ごとについて、心理や教育の専門家と一緒に解決の仕方を考えるところです。

【問い合わせ先：教育相談室 ☎042-378-2110】
【メールでの申し込み：kyouikusoudan@city.inagi.lg.jp】



令和8年度小・中学校入学予定者の就学相談について

特別支援学級等への入級や特別支援教室への入室については、**令和7年5月20日(火)から10月31日(金)**の期間で申し込みを受け付けています。詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



市ウェブサイト

教育支援室(梨の実ルーム)

さまざまな要因により、登校しぶりや不登校の状況にある児童・生徒に、個別又は小集団による学びの場や居場所として、支援を行うところです。

【問い合わせ先：教育支援室 ☎042-331-7202】



学校経営支援室

教職員の資質の向上を図るため、教職員の研修、学校の教育活動の支援を行っています。

【問い合わせ先：学校経営支援室 ☎042-331-7919】

施設案内

- 開館時間
午前9時から午後5時まで
(土・日・祝、年末年始を除く)
- 住 所
稲城市平尾1-9-1 複合施設ふれんど平尾3階・4階
稲城市大丸607-2 都営稲城アパート17号館1階



市ウェブサイト



複合施設ふれんど平尾



教育相談室分室 (大丸)

▷問合せ 指導課教育センター係(042-331-7303)

長峰小学校開校三十周年記念式典を挙行了しました

6月7日(土)、稲城市立長峰小学校の開校三十周年を記念する式典が盛大に執り行われ、多くのご来賓の皆様、児童、教職員皆で盛大にお祝いしました。

式典では、児童が作詞し、音楽専科の教員が作曲した「30周年のうた」を、6年生が合奏で披露され、1年生から5年生による合唱が会場を温かな雰囲気で見守りました。

児童による「祝いの言葉」の場面では、30年の歩みを振り返りつつ、これからの未来への希望を児童が自らの言葉で語り、出席者全員が長峰小学校の歴史とこれからを展望する気持ちを共有するひとときとなりました。

式典後には、広い校庭に出て、地域の方々や卒業生等も集まり、バルーンリリースが行われ、色とりどりの風船が空高く放たれました。澄んだ青空へ舞い上がる風船は、笑顔あふれる30周年の象徴として、未来へ向かう明るい希望を連想する印象的な場面となりました。

長峰小学校がこれからも地域に根ざし、シビックプライドを育みながら、次の10年、20年、30年、さらにその先の未来へと新たな歴史を紡いでいくことを願っています。



長峰小学校と人文字



バルーンリリースの様子

▷問合せ 教育総務課教育総務係

教育長コラム

No.10

一人ひとりの活躍と
社会の形成

令和7年度の暦も、1学期から2学期へと向かっています。今号では、夏休み前までの教育委員会や各学校の取組から考えてきたことを、述べたいと思います。

4月下旬、稲城市教育委員会は、稲城市立学校全教職員を対象に、「令和7年度人権教育研修会」を開催しました。各学校では、年間を通し、「特別の教科 道徳」をはじめ、教育課程内外を問わず、学校生活のあらゆる場面において、児童・生徒が、自他を大切に思い尊重する姿勢と実践力を培うよう人権教育に取り組んでいます。また、教職員は、日々の生活において、児童・生徒が安心して希望をもって過ごすことができるよう、常に人権の重要性を意識しながら、指導・支援を行っています。

そのような、人権についての感覚や意識は、必要な瞬間に、間髪入れず発揮されることが大切であり、そのためには常に人権について意識するとともに、鋭敏な感覚を磨き上げる努力が必要です。加えて、時代とともに新たな人権課題が生じることから、常にアップデートを図ることも大切です。この考えを基に、稲城市教育委員会は、毎年、年度当初に、稲城市立学校

全教職員を対象に、「人権教育研修会」を継続実施してきました。また、多様な視点に基づき人権課題について考察できるよう、年ごとに、様々な分野から講師をお迎えしています。

今年度の「人権教育研修会」は、4月25日(金)、パラサイクリスト杉浦佳子さんを講師として開催しました。杉浦さんは、稲城市に在住。2017年・2018年と続けて世界選手権にて優勝、さらにパラリンピックでは、東京2020大会・パリ2024大会の、2大会連続金メダリストです。これらの輝かしい実績から、稲城市では、昨年、杉浦さんを、稲城市ホームタウンアスリートとして認定、さらに市民栄誉賞をお贈りしました。

当日のご講演では、「共生社会の実現」を演題として、杉浦さんご自身がこれまでの道のりの中で、どのように自信や希望をもって歩んでこられたかについて、また、多様な人々が一緒に社会を形成していくことの価値について、丁寧にお話くださりました。この日の杉浦さんのお話から、私は特に、「**全ての子ども達一人ひとりが、必ず何らかの可能性を秘めている**」ということ、そして「**それを開花させるよう、よさを信じ、認め、応援していかなければ**」との思いを深め、さらに、「**社会の中で、人々が互いの強み弱みを理解し支え合うこと**」の大切さを受け止めました。

直後の5月の定例校長会の「教育長挨拶」において、私は、この研修会で得たこれらの価値観を校長先生方に投げかけ、さらに、1学期間の学校訪問の際には、この視点をもって、校内で見られる様々な光景を参観してきました。

全18校を訪問した「年度当初訪問」。校舎内の、児童・生徒の絵画作品や造形作品の丁寧かつビジュアルな掲示・展示からは、子ども達の努力を大切に想う教職員の姿勢が感じられました。各教室内の、係活動や当番活動が記載された掲示物からは、仲間の役割を認め合う学級づくりがなされていることを感じました。さらに、各学校では、教室に入りにくくなっている児童・生徒のための居場所づくり設置の工夫、ユニバーサルデザインの視点を重視した教室環境や授業づくり、児童一人ひとりを複数の教職員が連携して支援する小学校での「副担任制」や、誰でも相談週間「の取組」といった学校経営がなされていました。

また、ある小学校では、授業中、一人の児童が誤った解答を発言した際、それを我先にと正そうとする周囲の子ども達を教師は毅然と制するとともに誤った解答をした児童にヒントを示し、学級全体が応援する姿勢となり、当該児童はついに正答を導き出すという場面に出会いました。まさに、大人の姿勢が子ども達の人権意識を育てているという実態を目の当たりにした瞬間でした。

5月から6月にかけては、市立学校18校中の8校において運動会・体育祭・体育大会(体育発表会)が開催されました。子ども達がそれぞれの得意分野において力を発揮できるよう工夫された種目・演目の設定、係活動による子ども達の活躍、仲間を力いっぱい応援し合う姿など、どの学校でも、どの場面でも、一人ひとりが、それぞれの方法で活躍していました。その中でも、特に私は、上級生の競技種目に審判・シャツを担う

中学生の姿が目に残りました。学年の上下に関わらず自らの役割を果たすことにより、生徒は、自らが責任をもち、力を発揮し、仲間とともに社会を形成していくという姿勢を培っているということを、確認しました。

その後、夏休みに入りました。休み中には、ご家庭や、子ども達を見守りご支援くださる地域の団体等の皆様が、それぞれの子ども達に、長期休業中ならではの活動や学びの機会をくださったり、成長の糧となるお声掛けをくださったりしていることと思います。それらの体験の意義を、夏休み明けには児童・生徒同士、また各学級等において共有し認め合い、2学期からの成長に繋げていければと思います。

一人ひとりが、自分らしさを存分に発揮し、サポートし合う、このことを仲間とともに実体験し、学び合い、身に付けていくことは、学校という場の大きな役割です。2学期は、中学校修学旅行、学芸会や学習発表会等の文化的行事、小学校での運動会等、一人ひとりが力を発揮し合い、新たな価値を発見し、思いや技術を表現する機会がたくさんあります。一人ひとりが伸び伸びと力を発揮し、他者と支え合いながら、社会を形成していくという実感を得る機会が、たくさんつくられることを願います。そのために、学校は、一人ひとりが認められ、互いに尊重し合う学級・学校づくりの実現を、今後も目指してまいります。

稲城市教育委員会教育長

杉本真紀子

春季運動会・体育祭・体育大会が
開催されました

市立小中学校18校のうち、稲城第三小学校、平尾小学校、稲城第一中学校、稲城第二中学校、稲城第三中学校、稲城第四中学校、稲城第五中学校、稲城第六中学校の8校が、5月下旬から6月上旬にかけて、春季運動会・体育祭・体育大会(体育発表会)を実施いたしました。雨による順延で平日開催となった学校もありましたが、どの学校も当日は多くの保護者や来賓の方にご参観いただき、児童・生徒は力いっぱい競技、演技に取り組んでいました。運動会を通じて、子ども達は自分の目標に向けて努力することや、友達と協働して競技や演技に取り組むことの大切さを学びました。

気温が大変上がった日もありましたが、各学校では、教室の一部開放による休憩場所の確保やテントの設置等、熱中症対策に取り組み、児童・生徒や参観者の体調に配慮がなされていました。



▷問合せ 指導課指導係

英語で遊ぼう!「いなぎALTイングリッシュフェスタ」を開催します!

英語を使ったコミュニケーションを楽しむイベント「いなぎALTイングリッシュフェスタ」を開催します。今年度より市立小中学校において活躍中の6人の外国語指導助手(ALT)と一緒に、ゲームやクイズ等多彩なプログラムに参加してみませんか。英会話を通じて、楽しく新しい体験をしながら英語にチャレンジしてみましょう。ぜひご参加ください!

日時: 令和7年8月23日(土) 【午前の部】9時から11時30分(8時45分開場)
【午後の部】13時30分から16時(13時15分開場)
場所: 向陽台小学校 体育館 対象: どなたでも参加できます
内容: 英語を使用したクイズやゲーム等 持ち物: 筆記用具、上履き、飲み物、タオル
申込: 不要 費用: 無料



市ウェブサイト

※駐車場はありません。公共交通機関での来場をお願いします。

▷問合せ 指導課指導係

「国連を支える世界こども未来会議」in INAGIを開催します!

市立小学校6年生の代表者が集まり、「住み続けられる未来の稲城市」をテーマにグループに分かれてディスカッションを行い、どんな稲城市にしたいか、自分たちに何ができるか、自由な発想でアイデアを発表します。ぜひお越しください。

日時: 令和7年8月21日(木)
午後3時10分から5時
場所: 市役所4階市議会本会議場
パブリックビューイング会場: 市役所6階会議室

※議場傍聴席は代表児童の保護者を優先とします。
一般の方はパブリックビューイング会場で会場の映像をご覧ください。

▷問合せ 指導課指導係



昨年度開催の様子

市立中学校のESD取組紹介

稲城第六中学校

エコ・クッキング学習会

5月30日(金)、稲城第六中学校の1年生を対象に、東京ガス株式会社から講師をお迎えして、エコ・クッキングについての学習会を実施しました。エコ・クッキングとは、身近な食生活からはじめるエコ活動であり、環境に配慮しながら、「買い物」「調理」「食事」「片づけ」をすることです。講師から、エコ・クッキングについて説明があった後に、生徒たちは、買い物、調理、食事、片づけといった場面での環境に配慮した工夫について、カードを利用して班ごとに楽しく学びました。この学習は、今後、全学年で実施する予定です。



ファーマン・プライマリースクールとの交流

5月27日(火)、ファーマン・プライマリースクール(シンガポール)から子ども達16人と教職員の方々6人が稲城第四小学校を訪問しました。

はじめに、体育館で歓迎会を行い、稲城第四小学校の児童が学校生活や稲城市について英語で紹介し、続けてファーマン・プライマリースクールから、映像による学校紹介や歌の披露がありました。その後は、5年生と6年生の各教室に分かれて、ゲーム等を通して交流を深めるとともに、給食の時間には、ファーマン・プライマリースクールの子供達も配膳体験をする等、日本の学校生活に親しみました。

稲城市のグローバル・スタディの一環として、大変貴重な機会となりました。



▷問合せ 指導課指導係

ふれあいの森体験学習

稲城市立小学校全12校の5年生が、稲城市坂浜にある青少年健全育成施設「稲城ふれあいの森」にて、5月から11月にかけて、自然体験学習を行っています。

日差しが強い日であっても、木々の生い茂る森の中に入ると涼しげな風を感じることができます。自然がそのまま残っている森ですが、児童が通る場所は、整備がなされています。

「ねいちゃーさーくるいなぎ」の皆さんに御協力をいただいた学校からは、森の中にあるものを活用したゲームが楽しかったとの感想がありました。また、火起こしを体験した学校からは、友達と協力して達成する体験がよかったとの報告がありました。

秋に実施する学校も、色づいた木々の中で、様々な体験活動を行う予定です。



野沢温泉村宿泊体験学習

稲城市立小学校全12校の6年生が、7月22日から8月2日にかけて、友好都市・長野県野沢温泉村に2泊3日の宿泊体験学習に行ってきました。今年も豊かな自然や伝統文化の学習、民宿の方々とのふれあいを通して、たくさんの貴重な体験ができました。

長坂ゴンドラに乗車すると、窓から野沢温泉村を一望でき、天気がいい日には北信地方の山々を望むことができます。標高差789mを約8分間上り、山頂駅(標高1,400m)で降りると、涼しい高原が広がっていました。

自然体験のトレッキングでは、宿の方々から草花やブナ林について教えていただきました。植樹体験では、これまで先輩方が植えた木の剪定も行いました。

また、つる細工体験や宿の方々から地元のお話を伺う等、野沢温泉村の伝統を学ぶことができました。

最終日は、宿の方々に心からの感謝の思いをお伝えし、今後、中学校1年生となり野沢温泉村を再訪することを楽しみに、お別れをしました。



▷問合せ 指導課指導係

中国の先生方による
南山小学校への学校訪問

5月22日(木)、「中国江蘇省小中学校教師生命教育研修団」が南山小学校を訪問しました。

はじめに、研修団からの挨拶と学校長から学校概要の説明がありました。授業参観後、栄養士より栄養バランスに配慮した本市の給食について説明し、給食を食べながら交流を深めました。

研修団から、南山小学校が訪問を受け入れてくれたことへの感謝や充実した教育施設の数々に深く感銘を受けたこと、子ども達が元気に挨拶を交わしてくれる姿に、稲城市の教育の素晴らしさを実感した等の感想をいただきました。



南山小学校山本校長と研修団の皆さん

▷問合せ 指導課指導係

募集しています 学校活動支援サポーター

東京都教育支援機構が運営する人材バンクシステムでは学校での活動をご支援くださるサポーターを募集しています。

学校で活動等を希望する方、知識や技術・経験を活かせる方は、ぜひご登録ください。

活動分野は学習支援、教職員の事務支援、特別支援教育、日本語指導等があり、活動形態には有期労働・パートタイム等があります。

学校での活動経験がない方には面談と研修により、サポートいたします。ご登録はインターネットからお願いします。

登録料・紹介料は無料です。

詳しくは右のQRコードからホームページをご覧ください。

【(公財)東京都教育支援機構】

電話番号：0120-389-055(人材支援課)



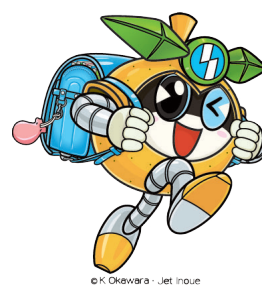
市の教育ボランティア人材バンクシステムでは学校のボランティアを募集しています。

詳細は市ウェブサイトをご覧ください。

▷問合せ 指導課指導係



市ウェブサイト



教育委員会の動き

第5回定例会 5月13日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)

稲城市教育委員会公印規則の一部を改正する規則、稲城市立小・中学校学校運営協議会委員(令和7年度)の解任及び任命について、稲城市立図書館協議会委員(令和7年度及び令和8年度)の任命について、令和8年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択要領について、令和8年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書の調査・研究の諮問について

3. 報告事項

第6回定例会 6月9日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)

稲城市公立学校非常勤講師の任免、分限及び服務等に関する規則の一部を改正する規則、教育長の権限に属する事務の一部委任規程の一部を改正する規程、稲城市立学校給食共同調理場運営委員会委員(令和7年度及び令和8年度)の委嘱について

3. 報告事項

第7回定例会 7月8日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)

稲城市立小・中学校学校運営協議会委員(令和7年度)の解任及び任命について

▽問合せ 教育総務課教育総務係

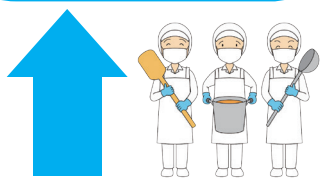
学校給食費の全額補助を行っています

学校給食に必要な経費は、学校給食法により以下のとおり負担することとされています。

なお、稲城市では、保護者の経済的負担を軽減するため、稲城市や東京都の補助金を活用して、令和7年1月から、保護者が負担する学校給食費の全額補助を行っています。

学校給食を実施するために必要な施設や設備、人件費

学校給食の食材費



稲城市が負担

保護者が負担

令和7年1月～
全額補助

お知らせ

- ◎連続して6日以上(土日祝日を除く)給食を利用しない場合は、事前のお申し出により学校給食を停止しますので、お早めに在籍校にご相談ください。
- ◎食物アレルギーや乳糖不耐症等のやむを得ない事由により牛乳の提供を辞退するお子さんは、在籍校にご相談ください。

▷問合せ 学務課学務係

稲城市教育委員会では循環型社会の実現に取り組んでいます

学校給食を調理する際に発生する野菜くずや給食の食べ残しは全て回収し、リサイクルしています。



①食べ残しは厨芥処理機で粉碎し脱水



②ポリバケツに入れてリサイクル業者へ



③堆肥化した食べ残し



④堆肥として市内の花壇等に再利用

▷問合せ 学校給食課第一給食係

大空高校学校説明会を実施しました

6月20日(金)、地域振興プラザにて稲城市の姉妹都市である北海道大空町の町立高校・北海道大空高等学校の学校説明会が開催されました。説明会は、大辻雄介校長先生と稲城市出身の大空高校生徒との対談形式により、学校の目指す教育と実際に在籍している生徒のリアルなエピソードを交えながら展開されました。

「主体性」を大切にする大空高校では、固定の時間割がないのが特徴で、生徒自身が、自分の進路に合わせた必要な教科を選び、独自の時間割を組んでいることや、開校して間もない高校であるため、歴史や伝統にとらわれず、生徒が主体的に考え、ハロウィンパーティーや地域の飲食店を活用したカフェ運営等の様々な企画を生み出しているとのことでした。

当日は市内の多くの中学生や保護者の方々が来場し、真剣に聴いてくださいました。



～イベント紹介～

「北海道大空高等学校 オープンクラス summer」

日時：令和7年8月29日(金)13時40分から16時30分

場所：北海道大空高等学校(東藻琴キャンパス)

対象者：大空高校に関心・入学を検討されている中学生及び引率者

内容：探究の授業の見学・学校・塾・寮の説明会・見学会・生徒交流等

申込期限：令和7年8月22日(金)16時

※翌日には寮主催の地域交流夏まつりが行われます。

申込方法等の詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



市ウェブサイト

▷問合せ 教育総務課教育総務係

統括学校支援コンシェルジュの任命式を行いました

7月1日(火)、統括学校支援コンシェルジュの任命式を行いました。

これまで稲城市では、学校支援コンシェルジュ・佐藤 久美子氏に、東京都地域学校協働推進員(統括コーディネーター)として活動いただきましたが、この度、佐藤氏が東京都地域学校協働推進員を退任されることに伴い、四中ブロックの学校支援コンシェルジュに活動いただいている西田 和弘氏を統括学校支援コンシェルジュに任命しました。

統括学校支援コンシェルジュとは、東京都地域学校協働推進員(統括コーディネーター)の稲城市としての新たな呼称であり、市内各ブロックの学校支援コンシェルジュの方々との連絡調整、情報紹介、人材発掘及び育成等の役割を担っていただきます。

統括学校支援コンシェルジュ任命により、本市のコンシェルジュの活動がさらに充実し、各学校において、より多様な教育活動が展開されることを目指します。



▷問合せ 指導課指導係

学校支援コンシェルジュとは

小・中学校の協力者として、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割を担っています。

令和7年度は22人が活動し、地域人材を活用した授業のコーディネートや小中連携事業等に取り組んでいます。

稲城市の教育「イエール」読者アンケート

稲城市の教育「イエール」をより良い広報紙にするため、読者アンケートを今号から実施いたします。皆さんの感想をぜひお聞かせください。

